

# 林檎

## 岩手Mac友の会

Vol.12, No.1 2000.7.22

Iwate Macintosh Funclub

### 林檎通算50号！

IMFの会報「林檎」が通算50号となりました。思い起こせば1988年4月20日に誕生した「岩手Mac友の会」でしたが、最初は会報が無く、例会だけの活動でした。この年の暮れ12月18日に、ホテル東日本で開催された第一回忘年会で、当時時事通信社の盛岡在住記者だった荒木健次さんが「会報が欲しい！」と言い出したのを切っ掛けにして、会報を発刊することが決まったのでした。

決まれば後は勢いで、言い出しっぺの荒木さんに編集長をお願いし、まだ決まっていなかった会の正式な名称を「岩手Mac友の会」とし、会長をこれまた言い出しっぺの野村に決め、会報の名前を「林檎」として慌ただしく会報の発刊準備が開始されたのでした。

創刊号は、当時のDTP定番ソフトのRady.Set.Go!をむりやり日本語で使って、カーソルの位置や削除キーの2回押しなどのテクニックで編集し、ドットプリンタで出力したものでした。記念すべき創刊号が完成したのは、1989年2月1日の午前1時で、皆でApple5周年記念のワインで乾杯したことが懐かしい思い出です。

今見るとドットが荒く、写真などは判別が難しいくらいですが、それでも当時はコンピュータからのプリントアウトが、紙の切り貼り無しで

出版物になることなどMac以外では考えられないことでした。

創刊号が郵送で届いた千葉県柏市の中島さんから、当時皆で使用していたパソコン通信(BBS)に届いたメッセージ「同人誌、しかも素人集団(失礼!敬意の念を込めての話ですから。)の手掛けたものとしては再考の部類に入る出来だと思えます。<中略>編集にかかわった皆様にメールでお祝を言いたいのですが、この掲示板のメッセージで換えさせて戴ければ幸いに思います。日本のマック関係の雑誌より最高だぜい!!」という最大の賛辞を頂きました。発刊に携わった人、会報を受け取った人それぞれに発刊の喜びを共有したのでした。Macを買って良かったと...

追い風のように、AppleからLazer Writer-II NTX/Jが登場し、創刊2号では現在のような高品位の文字や画像が出力されるようになって、益々会報の発行に拍車がかかるようになったのでした。(それからの話は後のページで)

### 総会を終えて

第13回総会も無事に終了し、新たな年度が始まっています。今年度の目玉は何と言ってもMEGUMIがインターネット経由で使えるようになることでしょう。(この記事を書いて

いる時点では既に実現しています)

これで盛岡市以外に在住している会員がMEGUMIを使う場合でも、電話料金の格差が無くなるわけで、会の活動が更に活発になることを期待しています。

御挨拶が遅れてしまいましたが、今年も会長を仰せつかりましたので、微力ながら皆様のお役に立ちたいと存じますので、今年度も宜しくお願い致します。



### Inside

総会報告	2
林檎50号に寄せて	3
林檎50号を振り返って	4
私のMaclife	6
インターネットでMEGUMI	8
林檎ギャラリー	10
編集後記	11
会員名簿	11
掲示板	12



## 第13回岩手Mac友の会総会報告

岩手Mac友の会  
会長 野村行憲



うっとおしい梅雨があけるのが待ち遠しい季節、会員の皆様におかれましては益々充実したMacLifeをお過ごしのことと存じます。

さて、遅くなりましたが、岩手Mac友の会恒例の定期総会が下記のとおり開催されましたので、その内容と決議事項を報告致します。なお、岩手Mac友の会は、会員の相互支援によって運営される互助互恵組織です。会の運営などについて、ご意見、ご要望、ご不満などがありましたら、例会やメールなどで会の運営に参加され、この会を導いて戴けるよう、お願い申し上げます。

今年度は、総会の決議と、関係各位の協力によってMEGUMIをインターネットに接続することができました。盛岡から離れている人には特にMEGUMIの利用が便利になるほか、直接ダイアルアップする回線も2回線化しますので、盛岡在住の方にも恩恵があるものと期待しています。

### 記

総会開催場所：岩手県自治会館、3階、第一会議室（盛岡市山王町4番1号）

日時：2000年5月20日（土）午後1時30分受付開始

プログラム： 13:30 開場（受付開始）

14:00 総会開始 前年度活動報告、今年度役員改選・活動計画など

15:00 記念イベント 会員の木村さんによるディスクトップ・ミュージックの実演  
（株）インフィニシスさんから、参加者へのプレゼントの抽選会  
< After Dark 4.6Jアニメーションハイブリッド、AfterDarkキャラクタセット計5本 >  
感謝を込めて（株）インフィニシス製品を愛用しましょう！！

15:30 会員近況報告 参加者全員のスピーチ

17:00 解散（総会終了後、会費制の懇親会）

### 決議事項

1999年度会計報告が原案通り承認

#### 2000年役員

会長 野村 行憲（再任）  
副会長 照井 芳夫（再任）  
編集長 佐藤 護人（再任）  
副編集長 藤原 友行（再任）  
会計 千葉 順子（再任）  
MEGUMI管理人  
土村 中（再任）  
高橋 晃（新任）

収入の部		支出の部	
前年度繰越	521,112	電気	20,000
利子	308	電話	21,000
会費 5.5人分	110,000	コピー	16,686
		郵送代	38,660
		封筒ラベル消耗品	6,944
		ユーザー会費	6,000
		マシン更新	346,500
		ドメイン名管理料	3,639
		振込手数料	1,575
		自治会館使用料	20,980
収入計	631,420	支出計	481,984
		通帳残高	141,292
		手持ち現金	8,144
		繰越合計	149,436
合計	631,420	合計	631,420

以上、99年度会計報告をいたします

岩手マック友の会 会計 笹川 順子

# 林檎 50号に寄せて



岩手Mac友の会の会報が通算50号を迎えることに対して、アップルコンピュータ株式会社、アップルユーザーグループコネクション様からお祝いのメッセージが届きました。

岩手Mac友の会の皆様、

この度は、会報50号の発行、おめでとうございます。

また、長きに渡りアップルおよび弊社製品を温かく見守っていただき、誠にありがとうございます。

アップルでは、皆様のMacintoshに対する情熱とご支援に大変感謝しており、これからも皆様とのコミュニケーションを大切にしていまいりたいと考えております。今後も、Mac OS Xをはじめ、エキサイティングで革新的な製品をご提供していけるよう努めてまいりますので、皆様からのご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、貴グループのより一層のご発展を心よりお祈りいたします。

アップルコンピュータ株式会社  
アップルユーザーグループコネクション

岩手Mac友の会はアップル社のアップルユーザーグループコネクションに登録された正規のユーザーグループです。アップルユーザーグループコネクション (Apple UGC) の詳細は、  
<http://www.apple.co.jp/ug/>  
で見ることができます。

Apple UGC へのIMFの登録内容は右のようになっています。

これも上記のURLから、辿って見られるようになっています。皆さんも一度自分のユーザー会がどう登録されているか見てみましょう。

## Apple User Group



アップルユーザーグループコネクションは、アップル製品を愛するユーザーが、お互いに助け合い、情報交換を行うためのコミュニティです。アップルユーザーグループコネクションは、アップル製品を愛するユーザーが、お互いに助け合い、情報交換を行うためのコミュニティです。

## Netscape Navigatorの画面コピー

### User Group 紹介

アップル製品を愛するユーザーが、お互いに助け合い、情報交換を行うためのコミュニティです。アップルユーザーグループコネクションは、アップル製品を愛するユーザーが、お互いに助け合い、情報交換を行うためのコミュニティです。

## 創刊後の林檎

創刊号目に荒木編集長突然の転勤で急遽編集長に就任したのが花巻の徳富さんでした。「一人称の会報」という初代編集長の意志が引き継がれたほか、徳富編集長の弛まぬ努力と編集委員の協力で充実した会報を継続的に届ける土台を築くことができたのでした。

MMMの会場にコピー着を設置して、その場で直接号外を発行したり、おそらく全国初の電子寄せ書きをしたり活発な活動を支えてくれたのは、何と云っても木津屋の杉村さんです。深く感謝致します。野村

# 林檎 50号万歳

1989/2/8 ~ 創刊50号を振り返って

徳富 亘

**お**もえば、色々ありました。思い出の断片を、徒然なるままに...

おぼろげな記憶をたどれば、岩手Mac友の会の栄えある発会式の時、各自興味のある分野に集まって部会を作りましょう、ということになったような気がします。当時Macの話題の的だったハイパーカードやパソコン通信、そしてプログラミングなどがテーマに挙げられたと思います。

そして当時芽を吹いたばかりのDesk Top Publishing、いわゆるDTP部門も設けられました。また折角DTPをやるなら、それを生かして会報を作りませんか、ということから林檎が始まったような気がします。

## 初代編集長はプロだった

そんな中で、まず思い出されるのは、初代編集長の荒木さんのことです。共同通信社の記者で、当時盛岡支局に勤務されていました。一人称で書きましょうという、林檎の基本コンセプトを形作っていただきました。自分はその後をただ引き継がせていただきましたので、お陰様で苦勞なしに、林檎づくりを楽しむことができました。

一緒にDTPグループに入った、ICSの菅野さん、熊谷さん、それから長いことギャラリーを担当していただいた岩手日報の瀬川さん、お変わり

ありませんか？

創刊当時のことを考えると際限なく、色々な事が脳裏をよぎります。

現在の編集長の佐藤先生のご自宅に、高橋さんがLaserWriterを持ち込んで、夜更けまでみんなでワイワイやらせていただいたものでした。

現在でもお世話になっていますが、木津屋本店の杉村さんの献身的な協力にも本当に頭が下がります。コピー印刷の時には、仕事が終わった後、ひとりで黙々とコピーをして下さっていた姿が忘れられません。

## パソコン通信で編集会議

林檎の編集会議や、編集上の連絡を便利にしてくれたのが、パソコン通信でした。

パソコン通信と言えば福田さん、お元気ですか？この間新幹線で偶然お会いできて嬉しかったです。お髭があった頃のイメージが今でも記憶の中に色濃く残っているので、福田さんだと思いつのに2秒くらいかかってしまい、失礼致しました。

盛岡市BBSのころ、福田さんのオートパイロットには、随分お世話になりました。1200bpsのじれったい時代でしたから本当に便利でした。そして福田さんと言えば、人間ウォッチングも忘れられません。

また、megumiになってからずっとお世話いただいている土村さんにも本当に感謝しています。

## 梁山泊

林檎の母体である我等が岩手Mac友の会は、Mac界の梁山泊のようだなあと思いつけてきました。

野村会長を筆頭に、照井さん、白石さん、長土居さん、佐々木明宏さん他、チョー大勢の業種を越えた素晴らしい交流があります。Macなしには出会えなかったキラ星のような人々との出会いは、自分の人生の宝物です。林檎の魅力はそういう会員の皆さんの魅力と直結しているのだと感じます。

そして、ここで習い覚えた多くの事や数々の体験が、現在の私の血肉となりパワーとなっています。

## 継続は値千金

冒頭で申し上げましたように、林檎の歴史は、MacによるDTPの歴史そのものだと思います。ハードやソフトの進歩とともに、印刷レベルも上がり、内容も素晴らしくなり続けています。今年になってから、有志の皆さんのご努力によりインターネットによるカラー版の配信も始まり、まさに21世紀を見据えた準備も相整ったようです。今後益々の発展を、とは取って申しませんが、できる限りの継続を願ってやみません。

記事と編集



# 林檎



林檎50号発行おめでとうございます。白石さんからの電話で簡単に原稿の執筆を引き受けてしまったものの、雑事に追われ締め切りを迎えてしまい再度野村会長から「林檎発刊50号を記念して歴代編集長から思いを語っていただきます。」と催促をされてしまいました。どうもすいませんでした。

思えば、四代目の編集長を辞める原因は中国留学でした。そのせいで最近では岩手大学でも中国通でなっていて、今では年に三回程度も学生等を連れて中国に行くことになっています。特に山東省はもう7度も出かけていて、泰山にも5度も登ってしまう始末です。(3年ほど前に、一度白石氏や長土井氏ご夫妻とも行きました。中国特に山東省は旅行ガイドできるほどです。ほとんどツアコン状態です。)

実際編集長とはいっても佐藤3代目かつ5代目現編集長(初代と2代目編集長の頃は会員ではありませんでした。1994年に盛岡に来ましたので・・・でもたぶん私が一番ダメな編集長であったことは間違いないとは思いますが。)とは違い、企画と依頼は編集委員だのみ、編集は北海道に行った熊谷におんぶに抱っこ状態、印刷は木津屋さんまかせで、編集長らしい仕事もできぬまま中国に旅立ってしまいました。

日経マックをはじめとする雑誌と差別化しつつ、林檎をどのようにすべきか一応考えてはいたのですが、なにもできぬまま途中で仕事を投げ

出すことになってしまいました。そのせいで林檎を一時廃刊に寸前にまで追い込んでしまい誠に申し訳有りませんでした。ですから、思いと言えば申し訳ないということになります。今後も林檎がますます発展し、かつ長く続いていくことを心から願っています。

写真は去年出かけた三峡川下りです。罪滅ぼしと言っては変かもしれませんが、もし中国に行きたい方、或いは行ってみたいがどうすればいいかわからない方、等々中国関係の問題を抱えている方すこしは相談にのれるかもしれません。

元編集長 藪 敏裕

## コラム 林檎ができるまで

林檎は編集長と編集委員によって次のように栽培されて、皆さんのお手元に届いています。

### 第1回編集会議

次号の発行に向けて、編集長を座長に皆さんと話し合いながら内容や私のMac Lifeを依頼する人などを決めていきます。それぞれの記事をどの頁に割り付けるか、頁毎に執筆者と編集担当を決め、さらに今後の日程(中間編集会議、最終編集会議)を決定します。

### 原稿依頼と編集作業

各編集委員は自分が編集を担当する記事を執筆していただく会員に、内容と期日を指定して原稿執筆を依頼します。

原稿と写真(データ)を受け取り画像の割り付けやタイトル作成などの編集作業に入ります。ここが腕の見せ所になります。

### 中間編集会議

各編集委員が完成した頁を持ち寄って回し読みで誤字脱字などを

チェックします。編集上の問題点やトラブルはここで解決され、見つかった誤りを持ち帰って最後の仕上げ作業に入ります。

### 最終編集会議

各委員が完成した頁を持ち寄り林檎のA4原紙ができあがりです。必要によっては編集長に高性能プリンタによる印刷を依頼します。原紙はコピーをお願いする木津屋の杉村さんに届けられ、厚手のA3用紙に両面コピーされます。

### 製本&発送

コピーされたA3的林檎は例会に集まったメンバーで2つ折り、製本して当日来た人たちは完成の喜びと郵送より早く林檎を味わうのです。

その後会員を管理している笹川さんに渡り、封入、宛名ラベル張付け後、郵便局に持ち込むのです。

DeskTop Publishing が実践的に身に編集委員を貴方も経験して見ませんか?いつでも大歓迎です!

# MY MAC LIFE

私のマックライフ 野村 翼



どうもこんにちは、(初めましての方、はじめまして)この春の総会から正式にMac友の会の会員となりました、野村翼です。会員になっていきなり原稿を書くことになって困ってしまったので、とりあえず自己紹介を含めて身の回りのことでもつつらと書いてみようかなと思います。

## 私のMac環境 (大学編)

現在、岩手県立大学ソフトウェア情報学部ソフトウェア情報学科組織情報システム学講座に在籍しています。この研究室は、県立大の中でも比較的Macintosh環境が整っている(もしかすると一番いいかもしれない)研究室で、講座のサーバー室にG3DT/266ZIPが6台、UMaxが1台あります(もちろんWinNTサーバーやAthlon搭載のWindows2000マシンもありますが)。大変嬉しい(悲しい?)ことに、講座の学生約30人の中でMacユーザーは私だけという状態で、この部屋のMacは講座の助手が面倒くさがりなこともあって、すべて私が管理するはめになっています(^。;

講座研究サーバー室の様子

ここにある6台のマシンのうち1台は去年の秋から私が占領してしまってダウンロードしてきたソフトなどのテスト用として非常に便利です。最近ではNetscape6PRなどを入れて「なんだこりゃ?」などと遊んだり、もちろん課題のレポートを書いたりするのも重宝しています。

最近になって、大学で学生のパソコンライフを支援するサークルを友人と立ち上げました。このサークルは、有志の学生が希望者にパソコンの使い方などを教えることによって自分たちの知識を再確認しつつ、教える側、教えられる側が共にスキルアップしようということで、週に一度集まってパソコン教室もどきのような活動をしています。HTMLやワード、エクセルなどを主に教えたりしているのですが、自分の知識の曖昧さを発見できたりしてなかなか勉強になっています。また、需要があれば学外の人へのサポート隊として、インターネットの設定などをするアルバイトを学生に供給する窓口のような団体にしてしまおうという計画もあります。言い出しっぺということで部長になってしまったのが辛いのですが.....。

余談ですが、他の学部の人に言わせるとソフトウェア情報学部人間は見た目で見るとわかります。なんでもオーラが出ているんだとか.....。出てますかね、やっぱし(´。`);

## 私のMac環境(家編)

大学に入る前は父から拝借した古いマシンを使っていたのですが、速いマシンの必要性に迫られて(誘惑に負けて)、去年の10月にG4が出て値崩れしたPowerMacG3/400DVDを購入しました。68LC040 PPC100G3/400と短期間で渡り歩いたのでこれの速さはまさに異次元といった感じでした。そして定番とも言える(?)Macびんぼーな生活へ.....



家族すら寄り付かぬ.....

このMacを買ってから最初に取り換えたのがキーボードとマウスです。純正のUSBのキーボードはふにやふにやで打ちにくいし、マウスはどこ向いてるのかも分からず(^。;、LogitechのホイールマウスとAppleアジャスタブルキーボードに変更。その後CD-RWを買い、そのためにSCSIのボードを追加。CD-Rは友人とのデータ交換やシステムのバックアップなどに非常に便利です。メディアも最近かなり安くなってきたので、経済的にも助かります。さらに秋葉で買ったHDDを追加して合計21GBにし、CG用に佐々木さんからペンタブレットを譲り受け、スキャナを衝動買いし、DVD

の鑑賞のためにスピーカーとウー  
ファーを買い、さらには大学の課題  
や友人とのデータ交換用(ゲーム  
用)にWinマシンを6万円ほどで自作  
(うあき)...とそして2台のマシンを  
使うために2系統入力のディスプレイ  
を買い、1つのボタンでMacとWinマ  
シンを切り替えて使えるようにしたり  
.....日々のバイト代のほとんどが  
消えていきます。

Macでやっていることは、ホーム  
ページの作成・管理、CG遊び、ゲー  
ム、DTM、C言語やJAVAの演習やそ  
他の大学の課題と、気になること  
にはなんでも手を出してしまってい  
て、なかなかスキル(とお金)があ  
ってこないのが悔しいところです。

最近忙しくてホームページの更  
新も滞っていますが、この間ついに  
手書きのHTMLによる製作に力尽き  
てしまってWEB作成ソフトを買って  
しまいました。これでWEB作成の3  
種の神器(macromedia Dreamweaver3,  
Fireworks3,Flash4)が揃ってしまった  
ので、夏休み中にはなんとかこれ  
を使いこなして、「いんたらくてい  
ぶ」なホームページを作ってやろう  
と思っています。ただ、これらのソ  
フトを使ってWEBの作成をしている  
と、現在搭載している192MBのメモ  
リでも足りなくなってしまうのが  
困ったものです(それも例の神器を  
全部立ち上げてネスケで確認しつ  
mp3を聴いていたたりする私が悪い  
のですが)。

## インターネットとお仕事

2月末あたりから時計屋さんでイン  
ターネットショップを作るアルバイト  
をしています。楽天市場という有  
名なショッピングモール(?)に登録し  
て、そこで時計を売っているのです  
が、お客さんとのメールのやりとり  
やホームページの製作と更新を通じ  
ているいろいろな体験ができ、非常  
に面白い仕事です。ホームページは  
楽天のシステムに則って作るので自  
由度が全くないのですが、自分では健闘

しているつもりです。不満といえ  
ば会社のマシンがN Cのマシンで、  
しかも画像編集するには力不足な  
マシンということくらいでしょうか  
.....。Photoshopでフィルタをかける  
ときには相当な覚悟が必要だっ  
たりします。それでも盛岡の相場  
から言って時給が2倍くらい(ク  
ドナルドの夜と比較)高いので決  
して文句は言いませんが(笑)。

ちなみにこの店はアネックスカ  
ウトクの1階にあります。

<http://www.rakuten.co.jp/abbeyroad/>

## ぶろぶえっしょなる(?)

3月の末から4月の頭にかけて、  
「Apple Demo Day プログラム」と  
いう企画に参加しました。Appleが  
やっている「Store in Store」の補  
助的な役割で、すでにMacを使っ  
ている人が店に相談員として立っ  
て、新規購入のお客さんに対して  
体験を語るという企画でした。こ  
の企画は新宿にあるApple Japan  
まで面接に行かなくてはならな  
かったのですが、交通費支給(=タ  
ダで秋葉に行ける!)という理由  
からすぐに行くことに決定しま  
した(笑)。

実際に店頭に立ったのは2日間  
だけでしたが、入学シーズンだ  
ったこともあってiMacやiBook  
がかなり人気で、いろいろな質  
問を浴びせられました。この企画  
に参加したおか

げで AシステムプラザのMac担当  
の店員さんと顔見知りだったので、  
行くたびにいろいろな話を聞いたり  
しています。

Demo Day 企画が終了すると今  
度は「Apple Learn&Earn Program」  
という企画に参加して感想を送  
ってくれという依頼がありました。こ  
のプログラムはインターネット上  
でAppleの製品に関することを  
勉強してテストを受け、ポイント  
をためることで3種の称号(Silver,  
Gold, Apple Product Professional)  
を得ることができるというもので  
す。問題には「PowerMacG4に  
搭載できるメインメモリの最大  
容量は?」といった簡単なもの  
から、「AppleScriptスクリプト  
がTCP/IP経由でリモートマシン  
にアクセスし、リモートマシン  
上でタスクを実行できるように  
するには、クライアントマシン  
に対してどのような設定が必要  
になりますか?」のような難しい  
ものもあります。苦勞のかいあ  
ってつい先日、なんとか一番上  
の称号である「Apple Product  
Professional」を貰うことが  
できました。これはちょっと自  
慢できるかも.....正式な  
資格というわけではないですが  
も.....。

こんな具合で、最近コンピュータ  
(Macintoshに限らず)にどっ  
ぷりと漬かった生活を続けてい  
ます。大学に居ても家に居ても  
電磁波を避けられない状況なの  
で、最近少しは健康にも気を配  
らないといけないなと思うよう  
になってきました - 。



野村 翼 IMF304  
cap\_t@mac.com  
<http://www.imfc.org/people/captain/>



# 林檎ギャラリー

佐藤護人



数年前、京都の大原へ行き、先日火事に遭った寂光院を訪れてから、三千院に行きました。その時玄関で羅漢さんが仲良く並んだポスターを見て、その可愛らしさに感激しました。羅漢さんは三千院の奥の方の庭で雰囲気のあるたたずまいをしてお

り、何時か良い写真を撮りたいと思いました。一年ほど過ぎたころ、この羅漢さんを撮るために京都に行くことに決めてからが大変。カメラは中型か35mmか。三脚使用が禁止なので、どの様にカメラを固定しようか。実際にカメラバックに望遠レン

ズをつけたカメラを乗せて人形を撮り、予行演習を積んでから京都に乗り込みました。まあまあが出来でしたが、まだ不満です。もう何回か挑戦してみたいな—と思っています。

